

令和7年度 東京都立千歳丘高等学校 学校経営報告

1 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

教育活動の目標と方策	重点目標と方策 (数値目標)	成果と課題
(1) 学校経営について		
①生徒の進路実現につながる教育活動を実践し、教職員一丸となって学校経営上の課題解決に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための校内研修年3回以上 ・全教職員による相互授業観察一人3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導研修2回、生徒情報交換会2回実施。 ・授業力向上プロジェクトにて相互授業観察一人3～5回実施
②教職員一人一人が高い倫理意識をもち法規法令を遵守する。体罰、個人情報の紛失を含めすべての服務事故を起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰や個人情報紛失などの服務事故案件発生0件 ・校内体罰防止調査年2回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・服務事故案件発生0件 ・校内体罰防止調査年2回実施
③服務事故を防止するために校内研修等の事故防止に向けた取組を確実に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・服務事故防止研修年3回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・服務事故防止研修年3回実施
④自律経営推進予算の適正な予算計画及び効果的な執行に努める。また、教員と経営企画室との連携強化を図り、学校運営への経営参画の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般需用費の予算執行率95%以上 ・一般需用費の支援センター利用可能な内容についての執行率90%以上 ・学校徴収金の未納率0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般需用費の予算執行率95%以上見込 ・一般需用費の支援センター利用可能な内容についての執行率90%以上達成 ・学校徴収金未納率0%見込
⑤生徒に安全・安心な教育環境を提供するために校内美化に努めるとともに必要な施設改修等について東京都教育委員会と協議し、整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化にかかわる活動年3回以上 ・防災・減災を高める活動年2回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校清掃活動を年間10回以上実施した。 ・定期的な避難訓練（火災・地震）を計4回実施
⑥業務の効率化によるライフ・ワーク・バランスを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議・職員会議・委員会等を60分未満で実施 ・全教職員年休取得10日以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議・職員会議・委員会等を60分未満実施達成 ・全教職員年休取得10日以上見込
⑦教育課程と本校のグランドデザインを基に、スクールミッションとスクールポリシーに沿った教育活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解や授業研究を含む校内研修を年3回以上し、教育活動の検証・改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解研修2回、授業力向上研修を2回実施。生徒アンケートにて「授業は工夫されている」の肯定的評価87%
(2) 学習指導について		
①教科会を中心とした教科マネジメントを確立させるとともに、生徒の希望進路に必要な学力を確実に定着させる主体的で深い学びを追求した高品質の授業を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・同一学年同一教科の定期考査問題共通化 ・ICT等を活用した授業実践に取り組む教員100% ・生徒の主体的な学習を取り入れた授業に取り組む教員100% ・生徒の授業満足度80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査問題の共通化は定着 ・ICTの活用について数名を除き、既に実践で活用済み。次年度は全員が何らかの授業実践に取り組むように取り組む。 ・引き続き研修を積み重ね、教員の授業改善に努めたい。 ・学校評価アンケートにおける生徒の授業満足度は77%

<p>②各教科、学習到達度目標として検定試験の活用を推進する。</p>	<p>・英語検定・漢字検定などを受検する生徒の割合80%以上</p>	<p>・漢字検定については1学年で受検した。次年度は英語検定を受検する予定生徒の受験割合は未達成</p>
<p>(3) 生活指導について</p>		
<p>① 挨拶の励行、身だしなみ規定の遵守、授業規律を全教職員が徹底する。教室環境の整備と安全点検を適切に行い、学習環境の維持・向上に努める。</p>	<p>・チャイム着席の徹底100% ・学校設備の不備による生徒の事故0件</p>	<p>・チャイム着席は良好。毎朝の登校時における正門での挨拶運動等で挨拶が定着化しつつある。自転車登校の生徒についてヘルメット着用の徹底は不十分。引き続き粘り強く指導する。身だしなみについても同様、さらなる指導や声掛けを実施し、改善に励む。時間厳守も同様に継続指導する。 ・学校設備の不備によるケガ等は0%で良好である。</p>
<p>②生徒に寄り添い向き合う指導を通して生徒の自律的な生活態度の育成を図る。</p>	<p>・学校は生徒の相談に気軽に丁寧に応じていると考える生徒の肯定評価割合80%以上 ・自分のためと思って指導してくれていると考える生徒の肯定的評価割合80%以上</p>	<p>・今年度よりSCが2名体制となり、専門的な助言を得ることできた。細かい支援や柔軟に相談を受けることが可能となったことから生徒自身の自己肯定感につながった。 ・学校評価での生徒対象による相談に対する満足度78%。今後は80%以上を目指す。また、生徒の自己肯定感に対する満足度は80% さらに向上させる。</p>
<p>③学校行事や各種集会・HR活動などあらゆる場面を活用して、生徒の規則正しい生活習慣や規範意識の育成を図り、社会人としての基本的なルールやマナーを身に付け実践できる生徒の育成を図る。</p>	<p>・一年前より、生活習慣が改善した、規範意識が身についたと考える生徒の割合80%以上 ・クラス行事や体育祭文化祭などの学校行事において自分は少しでも役に立つように努力したと考える生徒の割合90%以上</p>	<p>・問題行動の減少を目指して生活指導部と各学年で連携し、組織的指導を実践した。問題行動は年間計25件となったが昨年度よりも適切な生徒への指導・対応によるものと考えられる。基本的な生活規律確立に努めた生徒は80% 継続させる。 ・体育祭・文化祭を各委員会の生徒が中心となり主体的な活動ができた。生徒の達成感は88.5% 継続させる。</p>
<p>④いじめはどの学校にも起こりえるものだと全教職員が共通の認識をもち、人権尊重の精神で指導にあたる。支援が必要とされる生徒には状況に応じた対応を迅速かつ組織的に行う。</p>	<p>・生徒対象のいじめ調査年3回以上実施 ・生徒対象の体罰調査年2回以上実施 ・いじめ案件の発生認知から、いじめ対策委員会開催まで24時間以内</p>	<p>・各学期にて計3回のいじめ調査アンケートを実施した。いじめに関わる重大案件は0件。但し、いじめ案件になり得るケースが計3回あり、随時、いじめ防止対策委員会を開き対応を協議、適切な生徒指導や保護者との情報共有を図り未然防止につながった。 ・年2回の体罰調査を実施、生徒からの調査結果は0件 本校の体罰および暴言の防止への取り組みについて生徒の満足度アンケート77% ・報告からいじめ対策委員会開催まで24時間以内実施は達成</p>

(4) 進路指導・キャリア教育について		
① 3年間を見通し、進路指導部・各学年担任団を中心とした組織的な連携のもと、キャリア教育に沿った系統的な進路指導を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象進路説明会年3回以上 ・保護者対象進路説明会年1回以上 ・進学準備者を除く進路決定率 95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象説明会は、進路希望別に15回以上実施 ・保護者対象の進路説明会を4月の保護者会で実施 ・進路決定率 94.8%
(5) 特別活動について		
① 特別活動や部活動などを生徒が主体的に協働する場となるように努め、情操を豊かにするとともに生徒に望ましい帰属意識をもたせ、自尊感情の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、文化祭に積極的に参加したと考える生徒の割合 90%以上 ・生徒会の主体の行事年2回以上実施 ・各学年生徒主体の行事年1回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活にて生徒の主体的活動の充実度 84% ・生徒会役員主体の活動は、文化祭での「未成年の主張」の企画・実施、学校見学会・説明会での生徒会役員による相談ブースの運営、中学生との防災交流や、地域連携活動（ボランティア、お祭り参加清掃活動等）、昨年度以上に活動の幅を広げて、積極的に取り組んだ。 ・各学年で球技大会を実施
② 行事や部活動などを通して、目標に向かって準備し、練習するといった一連の実践により生徒の総合的な人間力の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・一年生の部活動加入率 75%以上 ・複数の高校もしくは生徒が参加する大会に生徒を参加させた部活動の割合 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度部活加入率は 61% 微増だが、今年度は 62% ・各部活動における大会参加は 100% 部活動加入生徒による 満足度は 70%
③ 文化的活動や体育活動を通して地域等に貢献し、社会性の涵養を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への生徒の参加や学校行事への地域の方の参加、年2回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域町内会の方も参加する本校の防災訓練・教育を6月実施。地域のお祭り・清掃活動など定期的な地域行事にも生徒会役員や各部活動の生徒を中心として積極的に参加した。
(6) 安全・健康指導について		
① セーフティ教室や避難訓練を通じて犯罪から身を守る技術や防災意識を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティ教室や避難訓練各2回以上実施 ・危機管理意識が身についたと考える生徒の割合 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に警察署からの協力で闇バイト防止講話を実施。12月に薬物乱用防止教室を外部の講師を招聘、実施。2月に全校集会にて SNS についての注意喚起を実施。 ・年4回の定期的避難訓練を実施。9月に全教職員対象の学校安全教育研修を実施。意識調査は未計測
② スクールカウンセラーによる第一学年全員面接等の組織的な教育相談支援体制を強化し、いじめの未然防止や体罰等の根絶を図るとともに、若者の自殺防止のための相談支援体制を日常的・組織的に強化し、早期発見・早期対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによる新入生全員面接を実施 ・いじめ防止及び自殺防止に向けた学校の取組みに対する生徒の肯定的評価 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月に SC との1学年の全生徒との面接を実施 ・今年度から SC 2名体制でいじめの防止等、適切な生徒対応や相談可能となり、未然防止や対策へとつながった。本校の積極的ないじめ対策への生徒満足度 68% さらに向上させていく。

<p>③発達障害等特別な支援が必要な生徒に対する組織的・計画的な対応を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援、教育相談に関する会議・研修会を年3回以上開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘、生徒理解研修会や精神科受診についてオンライン研修を実施した。来年度は、「生涯の健康に関する理解促進事業」実施校の方向（来年度のセーフティ教室等での活用検討）
<p>④定期健康診断やスポーツテストの結果分析を活用するとともに、栄養・運動・休養の三原則を基に生徒の健康の保持増進と体力向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりを年3回以上発行 ・保健に関わる研修会を1回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの個人記録をデータで把握させて自己の体力向上を意識させた。健康管理に関わる注意喚起を行った。 ・保健に関わる研修会を2回実施。
<p>⑤自転車の安全な利用に係る取り組みを充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学者のヘルメット着用率90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット所持は100%であるが、登校時に着用率は約40%に留まる。来年度は着用の徹底向上に努める。
<p>(7) 募集・広報活動について</p>		
<p>①授業や学校行事の公開、学校説明会・学校見学会の充実を図るとともに、デジタルコンテンツを積極的に活用し、中学生やその保護者などに情報発信力を高め、本校への進学希望者増を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入試倍率 推薦2.7倍以上 学力一次1.4倍以上 ・学校見学会、説明会の開催年5回以上 ・学校見学会、説明会に生徒会生徒や部活動生徒の参加率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・入試倍率は推薦2.61倍、学力一次1.30倍であった。 ・学校見学会・説明会を合わせて8回実施し多くの参加者を得た。 ・説明会のスタッフとして部活動や生徒会の生徒の参加率100%。参加者から好評を得た。
<p>②ホームページの更新を組織的に実施し、学校の情報発信を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のウェブページ更新回数200回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは120回更新した。次年度も多く更新し生徒の活躍や学校の様子を発信していきたい。
<p>③本校の紹介動画を組織的に作成し、You TubeやInstagramなどを活用し、中学生やその保護者に対して、本校の教育活動をアピールする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信が役に立ったと回答する中学生・保護者の割合100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はホームページの更新に注力した。You TubeやInstagramなどの活用については今後も検討したい。
<p>④地域行事への参加、地域と連携した防災訓練、地域清掃等、地域活動を通して地域貢献する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の本校の取組を肯定的に評価する割合90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の防災訓練、教育への地域の方々の参加をはじめ、生徒会役員の生徒を中心に、積極的に地域の活動・交流を行った。地域の方々の本校の取組の肯定的な評価48%と、本校の活動の認知が広がっていない様子が感じられる。今後はさらに地域貢献に励み、認知される取り組みに努める。

2 次年度以降の課題と対策

ア 組織的な学校運営の充実

- ・学校経営計画実現のために、各学年、分掌および教科の連携をさらに強化し、生徒の自己実現を図る教育活動を推進する。
- ・企画調整会議を機能させ、分掌と学年、教科との協力体制を強化し、学校の課題を全体で共有する。
- ・千歳丘高校グランドデザインを踏まえた教育課程の具体的なカリキュラム及びルーブリック評価を実践する。
- ・総合的な探究の時間を軸に、教科横断的学習を学校全体で確立する。

イ 学習指導の充実

- ・教科主任を中心とした組織的な教科指導体制を確立し、充実した学習指導の実現に努める。
- ・指導と評価の一体化を図り、観点別評価により、次への意欲を喚起できる指導を確立する。
- ・生徒による授業評価を分析・研究し、授業改善に生かす。
- ・授業力向上研修や ICT 機器活用研究等を通じて、興味・関心・意欲を引き出す授業を実践する。
- ・家庭学習が定着するよう、Teams を活用した課題配信を行うなど具体的な提示をする。
- ・多様な生徒に対応するため、校内寺子屋及び講習等で、基礎講座や発展講座などニーズに応じて開講し、生徒の学習意欲を喚起し、学力向上を目指す。

ウ 進路指導の充実

- ・大学等進学希望者に対して、推薦入試対策としての面接指導・志望理由書指導・小論文指導を全校体制で継続実施する。
- ・キャリア教育、「総合的な探究の時間」について、多面的な学びを充実させ、未来を切り拓く力を育成する。
- ・1年次から生徒の進路希望調査に基づいた進路ガイダンス等を実施し、個別に対応した進路指導を充実させることで、希望進路実現100%を目指す。

エ 生活指導の充実

- ・規範意識の向上を目指して具体的に次の項目を掲げ、指導をする。
 - ① 公共の場におけるルール、交通機関のマナー（特に自転車通学時）を守ることができるようにする。
 - ② 時と場に応じた身だしなみやきちんとした所作のできる生徒を育成する。
 - ③ 相手の立場を考えて、その場に応じた言葉遣いや適切なコミュニケーションができる

ようにする。

④ 集合時間の遵守や開始のチャイムで授業が始まる準備等、時間を意識した行動を身につけさせる。

⑤ 周りに迷惑をかけない、私語を慎むなどの授業規律を守り、授業に集中する環境づくりを整える。

- ・人権尊重の教育を推進し、いじめや体罰が起こらない学校環境を構築していく。
- ・SC 情報交換会をはじめ、日頃から SC などの専門家と教員間にて情報共有を行い、様々な課題を抱える生徒への相談に対応し、きめ細かい支援に取り組む。
- ・カウンセリングマインドを生かして、個々の生徒に適した指導を充実させる。
- ・家庭との連携を強化し、遅刻・欠席の多い生徒の生活習慣を見直し、改善指導を行う。
- ・安全教育推進校としての経験を活かし、登下校、自転車通学のマナーや自転車乗車時のヘルメット着用等、生命（いのち）の安全教育を重視した指導を強化する。

オ 特別活動の充実

- ・生徒会活動の活性化として文化祭等での学校行事を通じて生徒に達成感をもたせる。
- ・生徒会活動、委員会活動、部活動への参加を奨励し、生徒の主体的な行動を引き出して特別活動を活性化させる。
- ・地域との連携を強化し、防災活動の共同実施、地域行事への生徒の積極的な参加や協力など地域貢献活動をさらに発展させていく。地域防災については、船橋会（自治会）との覚書を今後、取り交わす予定であり、学校周辺の整備活動は地域住民の会である小径（こみち）の会とも連携し活動を充実させていく。